

令和5年6月30日時点で実施されていた患者申出療養の実績報告について

令和5年度（令和4年7月1日～令和5年6月30日）実績報告より

	患者申出療養
① 患者申出療養技術数（令和5年6月30日現在）	10種類
② 患者申出療養機関数（令和5年6月30日現在）	24施設※1
③ 総金額（④+⑤）	約2.4億円
④ 保険外併用療養費の総額（保険診療分）	約1.1億円
⑤ 患者申出療養費用の総額	約1.2億円
⑥ 総金額のうち患者申出療養費用の割合（⑤ / ③）	52.5%

※1 1施設で複数の患者申出療養を実施している場合でも、1施設として計上している。

※2 ③～⑤の費用については小数点2桁以下を四捨五入している。

令和5年6月30日時点で実施されていた患者申出療養の実績報告について

令和5年度（令和4年7月1日～令和5年6月30日）実績報告等より

	患者申出療養
① 患者申出療養技術数（令和4年6月30日現在）	8種類
② 新規承認技術数	3種類
③ 保険収載技術数	—
④ 実施取り下げ技術数	1種類
⑤ 削除技術数	—
⑥ 患者申出療養技術数（令和5年6月30日現在）	10種類

< 過去5年間の実績 >

	実績報告 対象期間	技術数	実施医療 機関数	全患者数	総金額	保険外併用療養 費の総額 (保険診療分)	患者申出療養 の総額	全医療費のうち患者申 出療養分の割合
令和元年6月30日時点で実施され ていた患者申出療養の実績	H30.7.1～R1.6.30 (12ヵ月)	7	24施設	38人	約0.5億円	約0.3億円	約0.2億円	41.4%
令和2年6月30日時点で実施され ていた患者申出療養の実績	R1.7.1～R2.6.30 (12ヵ月)	7	21施設	78人	約0.6億円	約0.3億円	約0.3億円	52.4%
令和3年6月30日時点で実施され ていた患者申出療養の実績	R2.7.1～R3.6.30 (12ヵ月)	8	23施設	208人	約1.9億円	約0.95億円	約0.95億円	50.2%
令和4年6月30日時点で実施され ていた患者申出療養の実績	R3.7.1～R4.6.30 (12ヵ月)	8	24施設	296人	約2.6億円	約1.5億円	約1.1億円	42.0%
令和5年6月30日時点で実施され ていた患者申出療養の実績	R4.7.1～R5.6.30 (12ヵ月)	10	24施設	312人	約2.4億円	約1.1億円	約1.2億円	52.5%

令和5年(令和4年7月1日～令和5年6月30日)の患者申出療養の費用

告示番号	患者申出療養技術名 (適応症)	開始年月日	総合計 (円)	患者申出療養 費用の総額 (円)	平均 入院期間 (日)	実施件数 (件)	1件あたりの 患者申出療養費用 (円)	実施 医療機関数 (機関数)
1	パクリタキセル腹腔内投与及び静脈内投与並びにS-1内服併用療法 (腹膜播種又は進行性胃がん)	平28. 10. 14	1,860,325	760,000	-	2	380,000	2
3	インフィグラチニブ経口投与療法 (進行固形がん)	平30. 12. 14	459,680	347,000	-	1	347,000	1
4	経皮的乳がんラジオ波焼灼療法 (早期乳がん)	平31. 3. 6	21,877,688	11,716,028	4.4	29	404,001	6
5	マルチプレックス遺伝子パネル検査による遺伝子プロファイリングに基づく分子標的治療 (根治切除が不可能な進行固形がん)	令1. 10. 1	177,078,476	81,289,853	3.4	269	302,193	12
6	トラスツマブ エムタンシン静脈内投与療法 (乳房外パジェット病)	令2. 6. 19	8,615,437	8,607,037	-	2	4,303,519	1
8	リツキシマブ静脈内投与療法 (難治性慢性炎症性脱髄性多発神経炎)	令3. 8. 11	-	-	-	-	-	1
9	ダブラフェニブ経口投与及びトラメチニブ経口投与の併用療法 (神経膠腫)	令3. 9. 17	1,525,402	617,542	-	4	154,386	1
10	ダブラフェニブ経口投与及びトラメチニブ経口投与の併用療法 (進行固形がん)	令5. 1. 19	3,954,062	2,346,732	11.0	3	782,244	1
11	タゼメスタット経口投与療法 (悪性固形腫瘍)	令5. 2. 17	20,172,524	17,546,864	61.0	1	17,546,864	1
12	経皮的胸部悪性腫瘍凍結融解壊死療法 (肺悪性腫瘍、縦隔悪性腫瘍、胸膜悪性腫瘍又は胸壁悪性腫瘍)	令5. 4. 14	1,537,180	1,276,520	5.0	1	1,276,520	1
合 計			237,080,774	124,507,576		312	25,496,726	27

令和5年度(令和4年7月1日～令和5年6月30日)の患者申出療養の
開始年月日、終了予定日、協力医療機関数及び年間実施件数

告示番号	患者申出療養技術名 (適応症)	臨床研究中核病院名	開始年月日	終了予定日	協力医療機関数	年間実施件数 (令和4年7月～令和5年6月までの実績)
1	パクリタキセル腹腔内投与及び静脈内投与並びにS-1内服併用療法 (腹膜播種又は進行性胃がん)	東京大学医学部附属病院	平28. 10. 14	令5. 10. 14	8	2
3	インフィグラチニブ経口投与療法 (進行固形がん)	名古屋大学医学部附属病院	平30. 12. 14	令7. 6. 12	-	1
4	経皮的乳がんラジオ波焼灼療法 (早期乳がん)	国立がん研究センター中央病院	平31. 3. 6	令8. 2. 28	7	29
5	マルチプレックス遺伝子パネル検査による遺伝子プロファイリングに基づく分子標的治療 (根治切除が不可能な進行固形がん)	国立がん研究センター中央病院	令1. 10. 1	令10. 8. 31	11	269
6	トラスツマブ エムタンシン静脈内投与療法 (乳房外パジェット病)	慶應義塾大学病院	令2. 6. 19	令8. 2. 28	-	2
8	リツキシマブ静脈内投与療法 (難治性慢性炎症性脱髄性多発神経炎)	名古屋大学医学部附属病院	令3. 8. 11	令5. 12. 31	-	-
9	ダブラフェニブ経口投与及びトラメチニブ経口投与の併用療法 (神経膠腫)	九州大学病院	令3. 9. 17	令7. 8. 31	-	4
10	ダブラフェニブ経口投与及びトラメチニブ経口投与の併用療法 (進行固形がん)	北海道大学病院	令5. 1. 19	令9. 3. 31	-	3
11	タゼメスタット経口投与療法 (悪性固形腫瘍)	国立がん研究センター中央病院	令5. 2. 17	令10. 12. 31	-	1
12	経皮的胸部悪性腫瘍凍結融解壊死療法 (肺悪性腫瘍、縦隔悪性腫瘍、胸膜悪性腫瘍又は胸壁悪性腫瘍)	慶應義塾大学病院	令5. 4. 14	令8. 9. 30	-	1

※ 終了予定日は、実施計画の変更状況等の反映を踏まえ、今後変更する可能性がある。

1年間(令和4年7月1日~令和5年6月30日)の実施件数が
0件である患者申出療養技術に係る医療機関の今後の対応方針等

告示 番号	技術名	臨床研究中核病院名	実施医療機関名	0件の理由	医療機関の今後の対応方針	(参考) 昨年度の実績 (実施可能であるすべての 医療機関の実績)
8	リツキシマブ静脈内投与療法	名古屋大学医学部附属病院	名古屋大学医学部附属病院	予定の投与が終了し、経過観察のみであったため。	観察期間が終了したため、10月3日に患者申出療養の終了に伴う 取り下げを行った。総括報告書は提出準備中である。 ※第44回患者申出療養評価会議において、取り下げを報告済み	5件